

九頭竜川下流地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域：福井県福井市、あわら市、坂井市及び吉田郡永平寺町
- (2) 受 益 面 積：11,642ha（水田10,309ha、普通畑1,231ha、果樹園102ha）
- (3) 事 業 目 的：用水改良 11,642ha
- (4) 主要工事計画：幹線用水路 54.8km、支線用水路 11.6km
- (5) 国 営 事 業 費：113,300百万円（平成26年度時点 113,300百万円）
- (6) 工 期：平成11年度～平成31年度予定（施設機能監視期間を含む。）

2. 投資効率の算定

区 分	算 定 式	数値（千円）	備 考
総事業費	①	189,641,569	
年総効果額	②	11,549,536	
廃用損失額	③	4,256,801	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	38年	当該・関連事業の耐用年数
還元率× (1+建設利息率)	⑤	0.0576	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数（T=18年）
妥当投資額	⑥=②/⑤-③	196,255,976	
投資効率	⑦=⑥/①	1.03	

3. 年総効果額の総括

区 分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作物生産効果	209,966	用水改良や乾田化等による単収の増加及び作物の作付け面積の増減により、作物生産量が増減する効果
品質向上効果	42,050	用水改良により水稻の品質が向上する効果
営農経費節減効果	2,447,775	ほ場の大区画化及び乾田化等により、労働費及び機械稼働経費が節減され、営農経費が節減される効果
維持管理費節減効果	320,355	施設の新設、改修及び廃止に伴い、維持管理費が増減する効果
更新効果	8,149,545	施設の更新に伴い、現況施設の下で行われていた農業生産が維持される効果
非農用地等創設効果	9,099	換地手法を用いて先行的、計画的に非農用地を創設することにより、合理的かつ経済的に用地を取得できる効果
安全性向上効果	79,819	開水路のパイプライン化に伴い、安全性が向上する効果
文化財発見効果	31,714	埋蔵文化財が具現化され、その文化的価値が明確になる効果
公共施設保全効果	18,678	道路の原形復旧等の補償工事により、地域の利便性が確保されるとともに、公共施設の有する耐用年数が延びる等の便益が増減する効果
地域用水効果	95,360	防火用水及び消流雪用水として利用されることに伴い、防火施設の設置費用及び除雪費用の節減が図られる効果
地籍確定効果	2,944	ほ場整備事業により、地籍が明確となる効果
水辺環境整備効果	142,231	親水性、環境に配慮した水路の設置により、地域住民に「やすらぎの場」等を提供するとともに、水辺環境が保全、創造される効果
計	11,549,536	
廃用損失額	4,256,801	耐用年数が尽きていない廃用施設の残存価値

4. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施による用水補給、水源転換に伴い、干害・塩害被害が防止される効果、乾田化及び水管理改良に伴い、単収の増加をもたらす効果及び農業用水の安定供給及び水田の汎用化に伴い、作物の作付け面積が増減する効果を計上する。

○対象作物

水稻(移植)、水稻(直播)、加工用米、大豆、そば、ばれいしょ、春だいこん、春キャベツ、ほうれんそう、夏秋トマト、すいか、メロン、らっきょう(1年掘)、らっきょう(3年掘)、きく、大麦、秋冬だいこん、冬キャベツ

○年効果額算定式

生産増減量×生産物単価×純益率

○年効果額の算定（算定例：劔岳地区 水稻（移植））

作物名	作 付 面 積 (ha)			効 果 要 因	単収増 (kg/10a)	増 加 生産量 (t)	単 価 (円/t)	増 加 粗 収 益 (千円)	純益 率 (%)	年効果額 (千円)
	現 況	計 画	増 減							
水稻 (移 植)	① 66	② 54	③=②-① △12	単収増 (干害防止)	④ (増) 11	⑤=②×④ 5.9				
		54		単収増 (水管理改良I)	④ (増) 11	⑤=②×④ 5.9				
		50		単収増 (乾田化I)	④ (増) 32	⑤=②×④ 16.0				
		1		単収増 (乾田化II)	④ (増) 16	⑤=②×④ 0.2				
				小計		⑤ 28.0	⑥ 229	⑦=⑤×⑥ 6,412	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 4,937
		54		作付減	④ (現況) 526	⑤=③×④ △63.1	⑥ 229	⑦=⑤×⑥ △14,450	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
				計						4,937
総計										209,966

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・ 作 付 面 積：受益面積の変動分を、国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書の作物別面積割合をベースに按分して算定。
- ・ 単 収：現況単収は、農林水産統計年報等による最近5か年平均の単収を用いた。
計画単収は、現況単収に作物別の増収率を乗じて算定。
- ・ 生産物単価：農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格。
- ・ 純 益 率：「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を使用した。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施により、パイプライン化されることで比較的低温の用水を供給することによる水稻の品質が向上する効果を計上する。

○対象作物

水稻（移植）、水稻（直播）

○効果算定式

効果発生量×品質向上による単価上昇額

○年効果額の算定

作物名	効果要因	効果発生面積 (ha) ①	計画単収 (kg/10a) ②	効果発生量 (t) ③=①×②	生産物単価 (千円/t)			年効果額 (千円) ⑦=③×⑥
					現況 ④	計画 ⑤	上昇額 ⑥=⑤－④	
水稻(移植)	水管理改良	3,753	545	20,454	229	231	2	40,908
水稻(直播)	水管理改良	113	505	571	229	231	2	1,142
総 計								42,050

- ・ 効果発生面積：受益面積の変動分を、国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書の作物別面積割合をベースに按分して算定。
- ・ 計 画 単 収：作物生産効果の計画単収を用いた。
- ・ 現 況 単 価：作物生産効果の現況単価を用いた。
- ・ 計 画 単 価：関係JAによる品質調査結果を用いて価格向上率を算定し、現況単価に乗じて算定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

関連事業の実施によるほ場の大区画化及び乾田化に伴い、機械作業効率が向上し、労働費及び機械稼働経費が節減される効果及び末端水路のパイプライン化に伴い、水管理作業経費が節減される効果を計上する。

○対象作物

水稻（移植）、水稻（直播）、大豆、大麦、ばれいしょ、キャベツ、ほうれんそう、トマト、すいか、そば

○効果算定式

(現況単位面積当り営農経費－計画単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定 (算定例：水稻(移植)(小区画湿田→大区画乾田、小区画乾田→大区画乾田))

作物名		ha当たり営農経費				ha当たり 節減額(円)	効果発 生面積 (ha)	年効果額 (千円)
		労働費 (円)		機械等経費 (円)				
		現 況①	計 画②	現 況③	計 画④	⑤=(①+③) -(②+④)	⑥	⑦=⑤×⑥
水稻 (移植)	小区画湿田 → 大区画乾田	370,656	183,898	2,486,041	594,248	2,078,551	499	1,037,197
	小区画乾田 → 大区画乾田	344,630	183,898	2,558,098	594,248	2,124,582	18	38,242
総計								2,447,775

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・ 労働 費：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、労賃単価については平成24年産米生産費調査（農林水産省統計部）における労働費及び労働時間について、消費者物価指数により換算した数値を用いている。
- ・ 機 械 経 費：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、農業機械の購入価格を「農業機械・施設便覧 2013/2014」の価格に置き換え、整理した数値を用いている。
- ・ 効果発生面積：受益面積の変動分を、国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書の作物別面積割合をベースに按分して算定。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施による土地改良施設の新設、改修及び廃止に伴い、施設の管理に要する運転経費、維持管理費、人件費等の経費が増減する効果及び水源転換等に伴い、現況の用水確保経費が節減される効果を計上する。

○対象施設

用水路、揚水機場、水管理施設等

○効果算定式

現況維持管理費－計画維持管理費

○年効果額の算定

現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額 (千円) ③＝①－②	備 考
521,609	201,254	320,355	計画維持管理費は、小水力発電の売電による節減効果額を含む。

- ・ 現況維持管理費 (①) : 国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・ 計画維持管理費 (②) : 国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。

(5) 更新効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施による土地改良施設の更新に伴い、現況施設の下で行われていた農業生産が維持される効果を計上する。

○対象施設

用水路、揚水機場、水管理施設等

○効果算定式

最経済的事業費×還元率

○年効果額の算定

対 象 施 設	最経済的事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ①×②	備考(更新施設)
用水路、揚水機場、 水管理施設等	114,086,125	0.0505	5,761,351	耐用年数40年(用水路(管水路))
	42,820,730	0.0466	1,995,446	耐用年数50年(用水路(シールド・河川横断等))
	186,946	0.0578	10,804	耐用年数30年(支線用水路)
	113,351	0.0483	5,474	耐用年数45年(揚水機場(建物))
	862,944	0.0736	63,512	耐用年数20年(揚水機場(機械))
	716,782	0.1233	88,379	耐用年数10年(水管理施設(機械))
	171,572	0.0505	8,664	耐用年数40年(ファームポンド)
	96,357	0.1233	11,881	耐用年数10年(スプリンクラー)
	2,090,341	0.0578	120,821	耐用年数30年(排水路)
	1,647,781	0.0505	83,213	耐用年数40年(道路工)
計	162,792,929		8,149,545	

(注) 年効果額は施設毎に積み上げて算出していることから、計算結果が合わない場合がある。

- ・最経済的事業費 (①) : 現況施設と同じ機能を有する施設を再建設する場合の事業費。
国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・還元率 (②) : 各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(6) 非農用地等創設効果

○効果の考え方

関連事業の実施に伴い、換地手法を用いて先行的、計画的に道路等の非農用地を円滑に創設することにより、合理的かつ経済的に用地を取得できる効果を計上する。

○対象施設

関連ほ場整備事業内の道路、施設用地、その他（宅地）

○効果算定式

(想定経費－計画経費) × 還元率

○年効果額の算定

非農用地 区分	想定経費 (千円) ①	計画経費 (千円) ②	差引経費 (千円) ③=①-②	耐用年数 (年) ④	還元率 (千円) ⑤	年効果額 (千円) ⑥=③×⑤
道路	172,816	12,785	160,031	100	0.0408	6,529
施設用地	7,953	3,187	4,766	100	0.0408	194
その他	70,956	12,715	58,241	100	0.0408	2,376
計	251,725	28,687	223,038			9,099

- ・ 想定経費（①）：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・ 計画経費（②）：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・ 還元率（⑤）：土地の耐用年数（④）100年を適用し、割引率を基に算出される係数。

(7) 安全性向上効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施による開水路のパイプライン化に伴い、事故率の減少、精神的安定の確保等その安全性が向上する効果を計上する。

○対象施設

十郷用水路、河合春近用水路、春江北部用水路、高棕新江用水路、芝原用水路及び関連事業（県営）用水路の安全性を確保するための安全施設（ネットフェンス、ガードレール）

○効果算定式

安全性確保投資額×還元率

○年効果額の算定（算定例：十郷用水路、春江北部用水路、新江用水路）

施設名	投資額 (千円) ①	耐用 年数 (年)	還元率 ②	年効果額 (千円) ③＝①×②
十郷用水路	43,846	10	0.1233	5,406
春江北部用水路	1,772	10	0.1233	218
新江用水路	26,332	10	0.1233	3,247
計				79,819

※主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・投資額（①）：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・還元率（②）：各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(8) 文化財発見効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施に伴い、付随的に埋蔵文化財が具現化され、その文化的価値が明確になる効果を計上する。

○対象施設

文化財

○効果算定式

経費（文化財に係る調査、発掘及び保存に要する経費のうち土地改良事業で支出する経費）
×還元率

○年効果額の算定

経費区分	経費 (千円) ①	耐用年数 (年)	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②
調査・発掘費	777,312	100	0.0408	31,714

- ・経費（①）：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・還元率（⑤）：土地の耐用年数100年を適用し、割引率を基に算出される係数。

(9) 公共施設保全効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業の実施による開水路のパイプライン化、パイプラインの道路下埋設に伴い、橋梁の道路化及び道路の原形復旧を行うことにより、地域の利便性が確保されるとともに、公共施設の有する耐用年数が延びる等の便益が増減する効果を計上する。

○対象施設

道路、橋梁及び用排水路

○効果算定式

妥当投資額（維持管理費節減効果＋一般交通等経費節減効果＋更新効果）×還元率

○年効果額の算定

当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率 ①	維持管理費節減効果		一般交通等経費節減効果		更新効果		計	
	妥当投資額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③ = ② × ①	妥当投資額 (千円) ④	年効果額 (千円) ⑤ = ④ × ①	妥当投資額 (千円) ⑥	年効果額 (千円) ⑦ = ⑥ × ①	妥当投資額 (千円) ⑧ = ② + ④ + ⑥	年効果額 (千円) ⑨ = ⑧ × ①
0.0576	△3,600	△207	—	—	327,870	18,885	324,270	18,678

- ・妥当投資額：年効果額を施設別の耐用年数に応じた還元率で除した値で整理した。
 - ・当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率：
本事業の総合耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(10) 地域用水効果

○効果の考え方

本事業の実施により用水路の一部に防火施設を設置することに伴い、防火用水としての機能が高まり、地域が必要としている防火施設の設置費用の節減が図られる効果及び消流雪用水として利用が可能となり、除雪費用が節減される効果を計上する。

○対象施設

用水路

○効果算定式

防火用水効果：（地域集落等の防火水槽等の設置の節減数×1箇所当たり建設費）×還元率

消流雪用水効果：現況年除雪経費－計画年除雪経費

○年効果額の算定

【防火用水効果】

防火水槽の 設置節減数（箇所） ①	1箇所当たり建設費 （千円） ②	還元率 ③	年効果額 （千円） ④＝①×②×③
34	13,154	0.0505	22,585

- ・防火水槽の設置節減数（①）：
本事業で設置される防火施設のうち、消防水利の基準に準ずるものを選定した。
- ・1箇所当たり建設費（②）：
平成16年度価格で整理した防火水槽の施設建設費について、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
- ・還元率（③）：各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

【消流雪用水効果】

現況年除雪経費 （千円） ①	計画年除雪経費 （千円） ②	年効果額 （千円） ③＝①－②
333,240	260,465	72,775

- ・現況年除雪経費（①）：関係市への聞き取りに基づき算定した。
- ・計画年除雪経費（②）：現況年除雪経費から、事業により節減される地下水のくみ上げ等にかかる経費を減じて算定した。

(11) 地籍確定効果

○効果の考え方
関連事業の実施に伴う換地により、地積が明確になり、土地改良財産の管理の適正化、住民間の土地に係るトラブル防止等が可能となる効果を計上する。

○対象施設
関連ほ場整備

○効果算定式
(現況経費－計画経費) ×還元率

○年効果額の算定

現況経費（千円） ①	計画経費（千円） ②	耐用年数（年） ③	還元率 ④	年効果額（千円） ⑤＝（①－②）×④
72,153	0	100	0.0408	2,944

- ・ 現況経費（①）：「地積調査事業費算定要領」（国土交通省 土地・水資源局国土調査課）に基づき、当該事業実施地区の調査費を積算して算出した。ただし、平成16年度価格で整理した10a当たり国土調査費について、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。
 - ・ 計画経費（②）：国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額を計上した。
 - ・ 還元率（④）：土地の耐用年数（③）100年を適用し、割引率を基に算出される係数。

(12) 水辺環境整備効果

○効果の考え方

本事業の実施による支線用水路において、親水・景観に配慮した現場発生石を使用したせせらぎ水路を整備することにより、農村集落及び市街地の住民にやすらぎの場及び環境学習の場を提供するとともに、水辺環境が保全、創造される効果を計上する。

○対象施設
用水路

○年効果額算定式

水路上部整備工延長 (km) × 延長当たり世帯数 (世帯/km)
× 世帯当たり支払意思額 (円/世帯・年)

ただし、
延長当たり世帯数 : 1,594世帯/km
世帯当たり支払意思額 : 7,704円/世帯・年

○年効果額の算定 (算定例：十郷用水路)

幹線名	水路上部整備工延長 (km) ①	受益世帯数 (世帯) ②=①×延長当たり世帯数	年効果額 (千円) ③=②×世帯当たり支払意思額
十郷用水路	3.040	4,846	37,334
計	11.582	18,462	142,231

※主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

- ・水路上部整備工延長：国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書に基づき整理した。
 - ・延長当たり世帯数：CVMアンケート実施対象施設の受益世帯数を同施設延長で除して算定した。
 - ・世帯当たり支払意思額：平成17年にCVMにより算定した世帯当たり支払意思額を、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す消費者物価指数により補正した。

(13) 廃用損失額

○効果の考え方

本事業及び関連事業により廃止する施設または改修を行う施設のうち、耐用年数が尽きていない施設については、廃止、改修によって施設の有する残存価値が失われる。この価値を廃用損失額（デッドコスト）として計上する。

○対象施設

用水路、揚水機場、水管理施設等

○廃用損失額算定式

償却資産額×残存率

○廃用損失額の算定（算定例：右岸幹線用水路）

現況施設 （廃用施設）	設置年	償却資産額 （千円） ①	残存率			廃用損失額 （千円） ⑤＝①×④
			廃用時までの使用年数 ②	今後の使用可能年数 ③	残存率 ④＝③／(②＋③)	
右岸幹線用水路						
〈国営九頭竜川〉第1区	S. 27	134,304	58	—	—	0
〃 第2区	S. 29	69,101	56	—	—	0
〃 第3区	S. 28	62,773	57	—	—	0
〃 三ヶ分木工	S. 29	28,050	56	—	—	0
〃 金屋区	S. 29	51,625	56	—	—	0
〃 楽間区	S. 29	36,805	56	—	—	0
総計						4,256,801

※主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照。

・償却資産額（①）：廃用施設の事業費から廃棄価格（スクラップとしての価格）を差し引いた額。国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正した。

5. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部(監修)(1988)「[改訂]解説土地改良の経済効果」大成出版社
- ・北陸農政局国営九頭竜川下流土地改良事業変更計画書(平成21年2月)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について(平成26年3月27日 農林水産省農村振興局整備部長通知)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(平成26年3月27日 農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐(事業効果班))

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般的に公表されていない諸元については、北陸農政局九頭竜川下流農業水利事業所調べ

【便益】

- ・北陸農政局福井農政事務所「福井農林水産統計年報」農林水産統計協会(平成14～24年度)
- ・農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計」(平成14～18年度)
- ・福井市中央卸売市場年報(平成21～25年)
- ・日本農業機械化協会「2013/2014 農業機械・施設便覧」
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北陸農政局九頭竜川下流農業水利事業所調べ

九頭竜川下流地区の事業の効用に関する詳細

1. 投資効率の算定

区 分	算 定 式	数値（千円）	備 考
総事業費	①	189,641,569	
年総効果額	②	11,549,536	
廃用損失額	③	4,256,801	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	38年	当該・関連事業の耐用年数
還元率× (1+建設利息率)	⑤	0.0576	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数（T=18年）
妥当投資額	⑥=②/⑤-③	196,255,976	
投資効率	⑦=⑥/①	1.03	

2. 年総効果額の総括

区 分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作物生産効果	209,966	用水改良や乾田化等による単収の増加及び作物の作付け面積の増減により、作物生産量が増減する効果
品質向上効果	42,050	用水改良により水稻の品質が向上する効果
営農経費節減効果	2,447,775	ほ場の大区画化及び乾田化等により、労働費及び機械稼働経費が節減され、営農経費が節減される効果
維持管理費節減効果	320,355	施設の新設、改修及び廃止に伴い、維持管理費が増減する効果
更新効果	8,149,545	施設の更新に伴い、現況施設の下で行われていた農業生産が維持される効果
非農用地等創設効果	9,099	換地手法を用いて先行的、計画的に非農用地を創設することにより、合理的かつ経済的に用地を取得できる効果
安全性向上効果	79,819	開水路のパイプライン化に伴い、安全性が向上する効果
文化財発見効果	31,714	埋蔵文化財が具現化され、その文化的価値が明確になる効果
公共施設保全効果	18,678	道路の原形復旧等の補償工事により、地域の利便性が確保されるとともに、公共施設の有する耐用年数が延びる等の便益が増減する効果
地域用水効果	95,360	防火用水及び消流雪用水として利用されることに伴い、防火施設の設置費用及び除雪費用の節減が図られる効果
地籍確定効果	2,944	ほ場整備事業により、地籍が明確となる効果
水辺環境整備効果	142,231	親水性、環境に配慮した水路の設置により、地域住民に「やすらぎの場」等を提供するとともに、水辺環境が保全、創造される効果
計	11,549,536	
廃用損失額	4,256,801	耐用年数が尽きていない廃用施設の残存価値

(1) 作物生产效果

【劔岳地区】

[illegible]

【川西地区】

	作物名	作 付 面 積 (ha)			効 果 要 因	単収増 (kg/10a)	増 加 生産量 (t)	単 価 (千円/t)	増 加 粗 収 益 (千円)	純 益 率 (%)	年効 果額 (千円)
		現 況	計 画	増 減							
田（表）	水稻 (移植)	① 584	② 584	③=②-① 3	単収増 (増収) 24	④ (増) 24	⑤=②×④ 140.2				
			183		単収増 (増収) 33	④ (増) 33	⑤=②×④ 60.4				
					小計		⑤ 200.6	⑥ 229	⑦=⑤×⑥ 45,937	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 35,371
			587		作付増	④ (計画) 560	⑤=③×④ 16.8	⑥ 229	⑦=⑤×⑥ 3,847	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
					計						35,371
	水稻 (直播)	① 0	② 33	③=②-① 33	作付増	④ (計画) 491	⑤=③×④ 162.0	⑥ 229	⑦=⑤×⑥ 37,098	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
	大麦	① 36	② 36	③=②-① 11	単収増 (増収) 43	④ (増) 43	⑤=①×④ 15.5	⑥ 37	⑦=⑤×⑥ 574	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 442
			47		作付増	④ (計画) 328	⑤=③×④ 36.1	⑥ 37	⑦=⑤×⑥ 1,336	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
					計						442
	大豆	① 48	② 48	③=②-① 25	単収増 (増収) 20	④ (増) 20	⑤=①×④ 9.6	⑥ 85	⑦=⑤×⑥ 816	⑧ 63	⑨=⑦×⑧ 514
			73		作付増	④ (計画) 156	⑤=③×④ 39.0	⑥ 85	⑦=⑤×⑥ 3,315	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
					計						514
	そば	① 17	② 17	③=②-① 3	単収増 (増収) 9	④ (増) 9	⑤=①×④ 1.5	⑥ 228	⑦=⑤×⑥ 342	⑧ 67	⑨=⑦×⑧ 229
			20		作付増	④ (計画) 68	⑤=③×④ 2.0	⑥ 228	⑦=⑤×⑥ 456	⑧ —	⑨=⑦×⑧ —
					計						229
	ばれい しょ	① 3	② 3	③=②-① 2	単収増 (増収) 203	④ (増) 203	⑤=①×④ 6.1	⑥ 70	⑦=⑤×⑥ 427	⑧ 82	⑨=⑦×⑧ 350
			5		作付増	④ (計画) 1,556	⑤=③×④ 31.1	⑥ 70	⑦=⑤×⑥ 2,177	⑧ 15	⑨=⑦×⑧ 327
					計						677
	春キャ ベツ	① 1	② 1	③=②-① 1	単収増 (増収) 391	④ (増) 391	⑤=①×④ 3.9	⑥ 63	⑦=⑤×⑥ 246	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 194
			2		作付増	④ (計画) 2,996	⑤=③×④ 30.0	⑥ 63	⑦=⑤×⑥ 1,890	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 359
					計						553
	ほうれ んそう	① 4	② 4	③=②-① 2	単収増 (増収) 129	④ (増) 129	⑤=①×④ 5.2	⑥ 603	⑦=⑤×⑥ 3,136	⑧ 80	⑨=⑦×⑧ 2,509
			6		作付増	④ (計画) 989	⑤=③×④ 19.8	⑥ 603	⑦=⑤×⑥ 11,939	⑧ 2	⑨=⑦×⑧ 239
					計						2,748
	夏秋 トマト	① 2	② 2	③=②-① 1	単収増 (増収) 116	④ (増) 116	⑤=①×④ 2.3	⑥ 256	⑦=⑤×⑥ 589	⑧ 81	⑨=⑦×⑧ 477
			3		作付増	④ (計画) 887	⑤=③×④ 8.9	⑥ 256	⑦=⑤×⑥ 2,278	⑧ 9	⑨=⑦×⑧ 205
					計						682
	すいか	① 1	② 1	③=②-① —	単収増 (増収) 656	④ (増) 656	⑤=②×④ 6.6	⑥ 113	⑦=⑤×⑥ 746	⑧ 80	⑨=⑦×⑧ 597
	きく	① 3	② 2	③=②-① △1	単収増 (増収) 3,724	④ (増) 3,724	⑤=②×④ 74.5	⑥ 63	⑦=⑤×⑥ 4,694	⑧ 89	⑨=⑦×⑧ 4,178
			2		作付減	④ (現況) 24,826	⑤=③×④ △248.3	⑥ 63	⑦=⑤×⑥ △15,643	⑧ 46	⑨=⑦×⑧ △7,196
					計						△3,018

[illegible]

【三里浜地区】

[illegible]

【棗地区】

[illegible]

【坂井東地区】

[illegible]

【坂井西鯉地区】

[illegible]

【坂井兵庫地区】

[illegible]

【河合地区】

[illegible]

【坂井大味地区】

[illegible]

【三国井場地区】

[illegible]

(2) 品質向上効果

[illegible]

(3) 営農経費節減効果

作物名		ha当たり 営農経費				ha当たり 節減額(円) ⑤=(①+③) -(②+④)	効果発 生面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑤×⑥
		労働費 (円)		機械等経費 (円)				
		現 況①	計 画②	現 況③	計 画④			
水稻 (移植)	小区画湿田 → 大区画乾田	370,656	183,898	2,486,041	594,248	2,078,551	499	1,037,197
	小区画乾田 → 大区画乾田	344,630	183,898	2,558,098	594,248	2,124,582	18	38,242
	小区画湿田 → 大区画乾田	370,656	190,905	2,486,041	597,014	2,068,778	93	192,396
	小区画乾田 → 大区画乾田	344,630	190,905	2,558,098	597,014	2,114,809	6	12,689
	中区画湿田 → 中区画乾田	301,587	221,364	774,519	721,353	133,389	90	12,005
	中区画乾田 → 中区画乾田	277,134	221,364	717,133	721,353	51,550	555	28,610
水稻 (移植 → 直播)	小区画湿田 → 大区画乾田	370,656	173,030	2,486,041	543,695	2,139,972	65	139,098
	小区画乾田 → 大区画乾田	344,630	173,030	2,558,098	543,695	2,186,003	3	6,558
	小区画湿田 → 大区画乾田	370,656	178,893	2,486,041	546,250	2,131,554	20	42,631
	小区画乾田 → 大区画乾田	344,630	178,893	2,558,098	546,250	2,177,585	1	2,178
	中区画湿田 → 中区画乾田	301,587	202,774	774,519	667,379	205,953	9	1,854
水稻 (直播)	中区画乾田 → 中区画乾田	258,544	202,774	663,159	667,379	51,550	69	3,557
大豆	小区画湿田 → 大区画乾田	384,813	149,721	3,024,511	394,140	2,865,463	86	246,430
	小区画乾田 → 大区画乾田	349,921	149,721	2,967,442	394,140	2,773,502	4	11,094
	小区画湿田 → 大区画乾田	384,813	156,871	3,024,511	398,484	2,853,969	19	54,225
	中区画湿田 → 大区画乾田	228,800	189,761	714,047	659,698	93,388	9	840
	中区画乾田 → 大区画乾田	194,766	189,761	659,698	659,698	5,005	118	591

作物名		ha当たり 営農経費				ha当たり 節減額(円) ⑤=(①+③) -(②+④)	効果発 生面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑤×⑥
		労働費 (円)		機械等経費 (円)				
		現 況①	計 画②	現 況③	計 画④			
大麦	小区画湿田 → 大区画乾田	151, 294	80, 080	2, 103, 425	313, 087	1, 861, 552	127	236, 417
	小区画乾田 → 大区画乾田	128, 843	80, 080	1, 943, 768	313, 087	1, 679, 444	5	8, 397
	小区画湿田 → 大区画乾田	151, 294	85, 943	2, 103, 425	313, 914	1, 854, 862	41	76, 049
	小区画乾田 → 大区画乾田	128, 843	85, 943	1, 943, 768	313, 914	1, 672, 754	1	1, 673
	中区画湿田 → 中区画乾田	132, 704	111, 826	545, 407	480, 299	85, 986	17	1, 462
ばれい しよ	小区画湿田 → 大区画乾田	830, 830	757, 042	2, 146, 955	316, 376	1, 904, 367	3	5, 713
	中区画乾田 → 中区画乾田	790, 504	786, 214	493, 952	493, 952	4, 290	5	21
キャ ベツ	小区画湿田 → 大区画乾田	932, 217	873, 587	1, 356, 791	227, 644	1, 187, 777	2	2, 376
ほうれ んそう	小区画湿田 → 大区画乾田	757, 614	666, 523	2, 275, 272	307, 836	2, 058, 527	3	6, 176
トマト	小区画湿田 → 大区画乾田	5, 291, 572	5, 219, 357	1, 966, 146	273, 549	1, 764, 812	4	7, 059
	小区画湿田 → 大区画乾田	5, 291, 572	5, 225, 506	1, 966, 146	275, 748	1, 756, 464	1	1, 756
	中区画湿田 → 中区画乾田	5, 279, 417	5, 242, 380	504, 289	440, 143	101, 183	1	101
	中区画乾田 → 中区画乾田	5, 246, 670	5, 242, 380	440, 143	440, 143	4, 290	3	13
すいか	小区画湿田 → 大区画乾田	1, 384, 812	1, 365, 936	2, 029, 992	273, 390	1, 775, 478	1	1, 775
	中区画乾田 → 中区画乾田	1, 387, 100	1, 382, 810	498, 083	498, 083	4, 290	1	4
関連事業 丸岡地区								
水稻	中区画乾田 → 中区画乾田	253, 682	253, 682	4, 050, 544	851, 672	3, 198, 872	12. 4	39, 666

作物名		ha当たり営農経費				ha当たり 節減額(円) ⑤=(①+③) -(②+④)	効果発 生面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑤×⑥
		労働費 (円)		機械等経費 (円)				
		現 況①	計 画②	現 況③	計 画④			
大麦	中区画乾田 → 中区画乾田	79,937	79,937	3,555,034	614,322	2,940,712	4.2	12,351
大豆	中区画乾田 → 中区画乾田	126,555	126,555	6,605,106	1,017,496	5,587,610	0.1	559
そば	中区画乾田 → 中区画乾田	63,492	63,492	6,330,240	985,842	5,344,398	0.9	4,810
関連事業 丸岡2期地区								
水稻	中区画乾田 → 中区画乾田	253,682	253,682	4,052,170	848,209	3,203,961	15.8	50,623
大麦	中区画乾田 → 中区画乾田	79,937	79,937	3,556,085	607,658	2,948,427	5.7	16,806
大豆	中区画乾田 → 中区画乾田	126,555	126,555	6,606,204	992,941	5,613,263	0.3	1,684
そば	中区画乾田 → 中区画乾田	63,492	63,492	6,331,082	946,518	5,384,564	5.2	28,000
キャベツ	中区画乾田 → 中区画乾田	882,882	882,882	3,358,806	413,659	2,945,147	0.2	589
関連事業 五ヶ江地区								
水稻	中区画乾田 → 中区画乾田	253,682	253,682	3,986,373	849,311	3,137,062	10.9	34,194
大麦	中区画乾田 → 中区画乾田	79,937	79,937	3,552,169	611,478	2,940,691	3.6	10,586
そば	中区画乾田 → 中区画乾田	63,492	63,492	6,331,467	957,108	5,374,359	0.5	2,687
関連事業 東江地区								
水稻	中区画乾田 → 中区画乾田	253,682	253,682	4,052,170	848,209	3,203,961	12.3	39,409
大麦	中区画乾田 → 中区画乾田	79,937	79,937	3,556,085	607,658	2,948,427	3.8	11,204
大豆	中区画乾田 → 中区画乾田	126,555	126,555	6,606,204	992,941	5,613,263	1.5	8,420
そば	中区画乾田 → 中区画乾田	63,492	63,492	6,331,082	946,518	5,384,564	1.3	7,000
総 計								2,447,775

(4) 維持管理費節減効果

現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=①-②	備 考
521,609	201,254	320,355	計画維持管理費は、小水力発電の売電による節減効果額を含む。

(5) 更新効果

対 象 施 設	最経済的事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ①×②	備考(更新施設)
用水路、揚水機場、 水管理施設等	114,086,125	0.0505	5,761,351	耐用年数40年(用水路(管水路))
	42,820,730	0.0466	1,995,446	耐用年数50年(用水路(シールド・河川横断等))
	186,946	0.0578	10,804	耐用年数30年(支線用水路)
	113,351	0.0483	5,474	耐用年数45年(揚水機場(建物))
	862,944	0.0736	63,512	耐用年数20年(揚水機場(機械))
	716,782	0.1233	88,379	耐用年数10年(水管理施設(機械))
	171,572	0.0505	8,664	耐用年数40年(ファームpond)
	96,357	0.1233	11,881	耐用年数10年(スプリンクラー)
	2,090,341	0.0578	120,821	耐用年数30年(排水路)
	1,647,781	0.0505	83,213	耐用年数40年(道路工)
計	162,792,929		8,149,545	

(注) 年効果額は施設毎に積み上げて算出していることから、計算結果が合わない場合がある。

(6) 非農用地等創設効果

非農用地 区分	想定経費 (千円) ①	計画経費 (千円) ②	差引経費 (千円) ③=①-②	耐用年数 (年) ④	還元率 (千円) ⑤	年効果額 (千円) ⑥=③×⑤
道路	172,816	12,785	160,031	100	0.0408	6,529
施設用地	7,953	3,187	4,766	100	0.0408	194
その他	70,956	12,715	58,241	100	0.0408	2,376
計	251,725	28,687	223,038			9,099

(7) 安全性向上効果

施設名	投資額 (千円) ①	耐用年数 (年)	還 元 率 ②	年効果額 (千円) ③ = ① × ②
十郷用水路	43,846	10	0.1233	5,406
春江北部用水路	1,772	10	0.1233	218
新江用水路	26,332	10	0.1233	3,247
高棕用水路	38,341	10	0.1233	4,727
芝原用水路	37,815	10	0.1233	4,663
兵庫江用水路	42,318	10	0.1233	5,218
海ヶ崎用水路	34,544	10	0.1233	4,259
石丸・川崎用水路	53,495	10	0.1233	6,596
西江用水路	46,826	10	0.1233	5,774
中江用水路	27,409	10	0.1233	3,380
二ノ堰用水路	26,965	10	0.1233	3,325
大中江用水路	47,115	10	0.1233	5,809
上江用水路	45,436	10	0.1233	5,602
七ヶ江用水路	56,229	10	0.1233	6,933
清正江用水路	19,768	10	0.1233	2,437
永江用水路	41,565	10	0.1233	5,125
徳分田用水路	16,410	10	0.1233	2,023
沖田用水路	41,172	10	0.1233	5,077
計				79,819

(8) 文化財発見効果

経費区分	経費 (千円) ①	耐用年数 (年)	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②
調査・発掘費	777,312	100	0.0408	31,714

(9) 公共施設保全効果

当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率 ①	維持管理費節減効果		一般交通等経費節減効果		更新効果		計	
	妥当投資額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=②×①	妥当投資額 (千円) ④	年効果額 (千円) ⑤=④×①	妥当投資額 (千円) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑥×①	妥当投資額 (千円) ⑧=②+④+⑥	年効果額 (千円) ⑨=⑧×①
0.0576	△3,600	△207	—	—	327,870	18,885	324,270	18,678

(10) 地域用水効果

【防火用水効果】

防火水槽の設置節減数(箇所) ①	1箇所当たり建設費 (千円) ②	還元率 ③	年効果額 (千円) ④=①×②×③
34	13,154	0.0505	22,585

【消流雪用水効果】

現況年除雪経費 (千円) ①	計画年除雪経費 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=①-②
333,240	260,465	72,775

(11) 地籍確定効果

現況経費(千円) ①	計画経費(千円) ②	耐用年数(年) ③	還元率 ④	年効果額(千円) ⑤=(①-②)×④
72,153	0	100	0.0408	2,944

(12) 水辺環境整備効果

幹線名	水辺上部整備工延長 (km) ①	受益世帯数 (世帯) ②=①×延長当たり世帯数	年効果額 (千円) ③=②×世帯当たり支払意思額
十郷用水路	3.040	4,846	37,334
春江北部用水路	1.500	2,391	18,420
河合春近用水路	1.530	2,439	18,790
高棕新江用水路	0.250	399	3,074
左岸幹線用水路	1.142	1,820	14,021
芝原用水路	4.120	6,567	50,592
計	11.582	18,462	142,231

- ・延長当たり世帯数 : 1,594世帯/km
- ・世帯当たり支払意思額 : 7,704円/世帯・年

(13) 廃用損失額

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
右岸幹線用水路						
〈国営九頭竜川〉第1区	S. 27	134,304	58	—	—	0
〃 第2区	S. 29	69,101	56	—	—	0
〃 第3区	S. 28	62,773	57	—	—	0
〃 三ヶ分木工	S. 29	28,050	56	—	—	0
〃 金屋区	S. 29	51,625	56	—	—	0
〃 楽間区	S. 29	36,805	56	—	—	0
〈国営坂井北部〉	S. 52	562,017	33	7	0.175	98,353
〃	S. 53	7,037	32	8	0.200	1,407
〃	S. 55	14,081	30	10	0.250	3,520
〈県営第2九頭竜川〉	S. 49	105,664	36	4	0.100	10,566
〃	S. 49	8,960	36	4	0.100	896
〃	S. 50	111,863	35	5	0.125	13,983
〃	S. 50	73,743	35	5	0.125	9,218
〃	S. 51	59,140	34	6	0.150	8,871
〃	S. 54	188,072	31	9	0.225	42,316
〃	S. 54	19,360	31	9	0.225	4,356
〃	S. 55	75,945	30	10	0.250	18,986
小 計		1,608,540				212,472
十郷用水路						
〈国営附帯九頭竜川〉	S. 32	204,247	53	—	—	0
〃	S. 34	128,269	51	—	—	0
〃	S. 35	74,402	50	—	—	0
〈県営第2九頭竜川〉	S. 49	19,377	36	4	0.100	1,938
〃	S. 50	9,501	35	5	0.125	1,188
〃	S. 51	11,777	34	6	0.150	1,767
〃	S. 51	17,809	34	6	0.150	2,671
〃	S. 52	56,023	33	7	0.175	9,804
〃	S. 53	44,956	32	8	0.200	8,991
〈県営第2九頭竜川〉	S. 54	51,335	31	9	0.225	11,550
〃	S. 54	40,450	31	9	0.225	9,101
〃	S. 55	6,434	30	10	0.250	1,609
〃	S. 55	21,581	30	10	0.250	5,395
〃	S. 57	42,982	28	12	0.300	12,895
〃	S. 59	149,684	26	14	0.350	52,389
〃	S. 61	3,051	24	16	0.400	1,220
〃	S. 62	110,434	23	17	0.425	46,934
〃	S. 63	97,342	22	18	0.450	43,804
〃	H. 1	79,691	21	19	0.475	37,853
〃	H. 1	28,829	21	19	0.475	13,694
〃	H. 2	54,354	20	20	0.500	27,177
〃	H. 3	38,281	19	21	0.525	20,098

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時までの使用年数 ②	今後の使用可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
〈県営第2九頭竜川〉	H. 4	151,956	18	22	0.550	83,576
〃	H. 4	19,640	18	22	0.550	10,802
〃	H. 5	17,858	17	23	0.575	10,268
〃	H. 6	25,178	16	24	0.600	15,107
小計		1,505,441				429,831
新江用水路						
〈国営附帯九頭竜川〉	S. 32	378	58	—	—	0
〃	S. 37	958	53	—	—	0
〃	S. 38	2,369	52	—	—	0
〃	S. 39	4,158	51	—	—	0
〃	S. 39	3,005	51	—	—	0
〃	S. 40	2,121	50	—	—	0
〃	S. 40	4,656	50	—	—	0
〃	S. 40	9,591	50	—	—	0
〃	S. 41	20,411	49	—	—	0
〃	S. 42	25,993	48	—	—	0
〃	S. 43	25,749	47	—	—	0
〃	S. 44	16,050	46	—	—	0
〃	S. 44	7,226	46	—	—	0
〃	S. 44	8,919	46	—	—	0
〃	S. 44	3,158	46	—	—	0
〃	S. 45	22,406	45	—	—	0
〃	S. 45	1,202	45	—	—	0
〃	S. 45	10,458	45	—	—	0
〃	S. 46	1,880	44	—	—	0
〃	S. 46	32,512	44	—	—	0
〃	S. 46	982	44	—	—	0
〈県営第2九頭竜川〉	S. 51	12,909	39	1	0.025	323
〃	S. 54	29,336	36	4	0.100	2,934
〃	S. 55	23,071	35	5	0.125	2,884
〃	S. 56	5,376	34	6	0.150	806
〃	S. 62	4,643	28	12	0.300	1,393
〃	H. 2	25,761	25	15	0.375	9,660
小計		305,278				18,000
高椋用水路						
〈国営附帯九頭竜川〉	S. 37	1,327	53	—	—	0
〃	S. 38	6,030	52	—	—	0
〃	S. 40	9,827	50	—	—	0
〃	S. 41	26,945	49	—	—	0
〃	S. 41	16,642	49	—	—	0
〃	S. 42	2,237	48	—	—	0

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
〈県営第 2 九頭竜川〉	S. 49	15,754	41	—	—	0
〃	S. 52	1,808	38	2	0.050	90
〃	S. 52	5,857	38	2	0.050	293
〃	S. 53	6,613	37	3	0.075	496
〃	S. 54	4,158	36	4	0.100	416
〃	S. 55	4,526	35	5	0.125	566
〃	S. 56	14,120	34	6	0.150	2,118
〃	S. 57	29,837	33	7	0.175	5,221
〃	S. 63	28,548	27	13	0.325	9,278
〈県営第 2 九頭竜川〉	H. 1	18,213	26	14	0.350	6,375
〃	H. 1	2,426	26	14	0.350	849
〃	H. 2	66,993	25	15	0.375	25,122
〃	H. 3	50,553	24	16	0.400	20,221
〃	H. 4	43,425	23	17	0.425	18,456
〃	H. 5	56,998	22	18	0.450	25,649
〃	H. 5	21,535	22	18	0.450	9,691
〃	H. 6	23,169	21	19	0.475	11,005
〃	H. 6	25,058	21	19	0.475	11,903
小 計		482,599				147,749
河合春近用水路						
〈県営第 2 九頭竜川〉	S. 50	17,884	39	1	0.025	447
〃	S. 51	8,291	38	2	0.050	415
〃	S. 51	8,303	38	2	0.050	415
〃	S. 52	25,145	37	3	0.075	1,886
〃	S. 53	42,065	36	4	0.100	4,207
〃	S. 53	14,649	36	4	0.100	1,465
〃	S. 54	61,885	35	5	0.125	7,736
〃	S. 54	24,004	35	5	0.125	3,001
〃	S. 55	20,959	34	6	0.150	3,144
〃	S. 55	15,077	34	6	0.150	2,262
〃	S. 56	17,518	33	7	0.175	3,066
〃	S. 56	19,303	33	7	0.175	3,378
〃	S. 56	6,809	33	7	0.175	1,192
〃	S. 57	42,748	32	8	0.200	8,550
〃	S. 57	18,189	32	8	0.200	3,638
〃	S. 58	36,108	31	9	0.225	8,124
〃	S. 61	40,279	28	12	0.300	12,084
小 計		419,216				65,010

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
春江北部用水路						
〈県営第2九頭竜川〉	S. 52	13,335	35	5	0.125	1,667
〃	S. 53	150,282	34	6	0.150	22,542
〃	S. 54	105,434	33	7	0.175	18,451
〃	S. 54	20,580	33	7	0.175	3,602
〃	S. 55	102,679	32	8	0.200	20,536
〃	S. 55	31,033	32	8	0.200	6,207
〃	S. 55	30,629	32	8	0.200	6,126
〃	S. 56	15,893	31	9	0.225	3,576
〃	S. 56	58,509	31	9	0.225	13,165
〃	S. 56	76,074	31	9	0.225	17,117
〃	S. 57	125,323	30	10	0.250	31,331
〃	S. 57	43,992	30	10	0.250	10,998
〃	S. 61	105,576	26	14	0.350	36,952
〃	S. 61	10,948	26	14	0.350	3,832
〃	S. 61	29,877	26	14	0.350	10,457
〃	S. 62	152,487	25	15	0.375	57,183
〃	S. 62	6,695	25	15	0.375	2,511
〃	H. 1	7,073	23	17	0.425	3,006
〃	H. 3	4,513	21	19	0.475	2,144
小 計		1,090,932				271,403
左岸幹線用水路						
〈県営芝原合理化〉	S. 51	13,229	37	3	0.075	992
〃	S. 51	56,029	37	3	0.075	4,202
〃	S. 52	32,841	36	4	0.100	3,284
〃	S. 52	2,255	36	4	0.100	226
〃	S. 52	12,440	36	4	0.100	1,244
〃	S. 52	59,927	36	4	0.100	5,993
〃	S. 53	25,085	35	5	0.125	3,136
〃	S. 53	2,920	35	5	0.125	365
〃	S. 56	36,156	32	8	0.200	7,231
小 計		240,882				26,673
芝原用水路						
〈国営附帯九頭竜川〉芝原外輪	S. 36	5,826	52	—	—	0
〃	S. 45	316,131	43	—	—	0
〃	S. 47	23,494	41	—	—	0
〈県営芝原合理化〉芝原外輪	S. 53	23,477	32	8	0.200	4,695
〃	S. 55	6,977	30	10	0.250	1,744
〃	S. 56	3,977	29	11	0.275	1,094

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
〈国営附帯九頭竜川〉芝原九ヶ	S. 43	26,016	47		—	0
〃	S. 44	15,838	46	—	—	0
〃	S. 44	21,667	46	—	—	0
〃	S. 44	5,304	46	—	—	0
〃	S. 45	6,635	45	—	—	0
〃	S. 47	13,331	43	—	—	0
小 計		468,673				7,533
兵庫江用水路	S. 56	1,704,081	29	11	0.275	468,622
坂口用水路	S. 43	594,552	40	—	—	0
海ヶ崎用水路	S. 43	816,880	40	—	—	0
石丸用水路	不明	820,098	—	—	—	0
川崎用水路	不明	841,381	—	—	—	0
西江用水路	S. 47	3,255,402	43	—	—	0
中江用水路	S. 47	1,332,206	43	—	—	0
石塚用水路	不明	2,494,606	—	—	—	0
二の堰江用水路	不明	1,566,619	—	—	—	0
五ヶ村江用水路	不明	367,003	—	—	—	0
大中江用水路	S. 47	1,433,556	—	—	—	0
上江用水路	S. 47	1,386,877	—	—	—	0
七ヶ江用水路	S. 47	1,382,912	—	—	—	0
清正江用水路	S. 42	515,835	—	—	—	0
永江用水路	不明	1,080,214	—	—	—	0
徳分田江用水路	不明	1,382,953	—	—	—	0
西江用水路(川西)	不明	1,218,263	—	—	—	0
小 計		22,193,438				468,622
井場取水堰						
〈県営兵庫川左岸〉	S. 47	292,447	42	8	0.160	46,792
〃	S. 48	20,192	36	14	0.280	5,654
小 計		312,639				52,446
坂口・海ヶ崎取水堰						
〈国営附帯九頭竜川〉	S. 41	56,794	48	2	0.040	2,272
〃	S. 42	313,179	47	3	0.060	18,791
〃	S. 43	144,545	46	4	0.080	11,564
小 計		514,518				32,627
揚水機場						
芝原第1揚水機場(吸水槽)	S. 58	118,399	30	10	0.250	29,600
〃 (機械)	S. 58	198,139	30	—	—	0
〃 (建物)	S. 58	120,515	30	15	0.333	40,131
芝原第2揚水機場(吸水槽)	S. 57	319,251	37	3	0.075	23,944
〃 (機械)	S. 57	194,703	37	—	—	0
〃 (建物)	S. 57	120,515	37	8	0.178	21,452
八ツ島揚水機場(吸水槽)	S. 58	195,515	36	4	0.100	19,552
〃 (機械)	S. 58	149,367	36	—	—	0
〃 (建物)	S. 58	56,945	36	9	0.200	11,389

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時までの使用年数 ②	今後の使用可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
西藤南部揚水機場(吸水槽)	S. 62	243,124	32	8	0.200	48,625
〃 (機械)	S. 62	155,425	32	—	—	0
〃 (建物)	S. 62	72,873	32	13	0.289	21,060
波寄揚水機場(吸水槽)	S. 41	294,717	54	—	—	0
〃 (機械)	S. 41	163,048	54	—	—	0
〃 (建物)	S. 41	72,873	54	—	—	0
川西第1揚水機場(吸水槽)	S. 41	219,220	54	—	—	0
〃 (機械)	S. 41	281,868	54	—	—	0
〃 (建物)	S. 41	88,774	54	—	—	0
川西第2揚水機場(吸水槽)	S. 41	219,220	54	—	—	0
〃 (機械)	S. 41	279,676	54	—	—	0
〃 (建物)	S. 41	88,774	54	—	—	0
串野揚水機場(吸水槽)	S. 41	243,124	54	—	—	0
〃 (機械)	S. 41	154,796	54	—	—	0
〃 (建物)	S. 41	72,873	54	—	—	0
下野揚水機場(機械)	S. 60	26,719	35	—	—	0
〃 (井戸)	S. 60	38,962	35	—	—	0
池見揚水機場(吸水槽)	S. 55	222,839	34	6	0.150	33,426
〃 (機械)	S. 55	161,604	34	—	—	0
〃 (建物)	S. 55	88,774	34	11	0.244	21,661
東荒井揚水機場(吸水槽)	S. 60	294,717	25	15	0.375	110,519
〃 (機械)	S. 60	250,069	25	—	—	0
〃 (建物)	S. 60	96,081	25	20	0.444	42,660
坂口揚水機場(吸水槽)	S. 60	433,870	29	11	0.275	119,314
〃 (機械)	S. 60	279,112	29	—	—	0
〃 (建物)	S. 60	167,991	29	16	0.356	59,805
海ヶ崎揚水機場(吸水槽)	S. 59	335,938	30	10	0.200	83,985
〃 (機械)	S. 59	210,304	30	—	—	0
〃 (建物)	S. 59	96,081	30	15	0.333	31,995
新郷城鎮揚水機場(吸水槽)	S. 58	531,661	32	8	0.200	106,332
〃 (機械)	S. 58	590,498	32	—	—	0
〃 (建物)	S. 58	199,586	32	13	0.289	57,680
若宮揚水機場(吸水槽)	S. 58	243,124	32	8	0.200	48,625
〃 (機械)	S. 58	154,796	32	—	—	0
〃 (建物)	S. 58	72,873	32	13	0.289	21,060
本荘郷第1揚水機場(吸水槽)	S. 60	433,870	30	10	0.250	108,468
〃 (機械)	S. 60	367,452	30	—	—	0
〃 (建物)	S. 60	199,586	30	15	0.333	66,462
本荘郷第2揚水機場(吸水槽)	S. 60	298,986	30	10	0.250	74,747
〃 (機械)	S. 60	210,304	30	—	—	0
〃 (建物)	S. 60	96,081	30	15	0.333	31,995
西鯉揚水機場(吸水槽)	H. 11	61,580	16	24	0.600	36,948
〃 (機械)	H. 11	105,336	16	4	0.200	21,067
〃 (建物)	H. 11	20,312	16	29	0.644	13,081

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤ = ① × ④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④ = ③ / (② + ③)	
下兵庫揚水機場(吸水槽)	H. 10	89,033	12	28	0.700	62,323
〃 (機械)	H. 10	213,839	12	8	0.400	85,536
〃 (建物)	H. 10	48,852	12	33	0.733	35,809
上兵庫揚水機場(吸水槽)	H. 9	89,033	13	27	0.675	60,097
〃 (機械)	H. 9	213,839	13	7	0.350	74,844
〃 (建物)	H. 9	48,852	13	32	0.711	34,734
坂井大味揚水機場(吸水槽)	H. 6	76,898	21	19	0.475	36,527
〃 (機械)	H. 6	143,515	21	—	—	0
〃 (建物)	H. 6	54,876	21	24	0.533	29,249
河合南部第1揚水機場(吸水槽)	S. 57	298,520	33	7	0.175	52,241
〃 (機械)	S. 57	163,048	33	—	—	0
〃 (建物)	S. 57	96,081	33	12	0.267	25,654
河合南部第2揚水機場(吸水槽)	S. 54	246,429	36	4	0.100	24,643
〃 (機械)	S. 54	191,016	36	—	—	0
〃 (建物)	S. 54	80,196	36	9	0.200	16,039
河合南部第3揚水機場(吸水槽)	S. 56	246,429	34	6	0.150	36,964
〃 (機械)	S. 56	155,425	34	—	—	0
〃 (建物)	S. 56	80,196	34	11	0.244	19,568
河合揚水機場(吸水槽)	H. 10	61,346	17	23	0.575	35,274
〃 (機械)	H. 10	151,078	17	3	0.150	22,662
〃 (建物)	H. 10	52,219	17	28	0.622	32,480
二日市揚水機場(吸水槽)	S. 52	243,124	38	2	0.050	12,156
〃 (機械)	S. 52	155,425	38	—	—	0
〃 (建物)	S. 52	72,873	38	7	0.156	11,368
高江安沢揚水機場(吸水槽)	S. 52	273,489	38	2	0.050	13,674
〃 (機械)	S. 52	206,870	38	—	—	0
〃 (建物)	S. 52	96,081	38	7	0.156	14,989
木部新保揚水機場(吸水槽)	S. 52	298,986	35	5	0.125	37,373
〃 (機械)	S. 52	210,304	35	—	—	0
〃 (建物)	S. 52	96,081	35	10	0.222	21,330
春江中部揚水機場(吸水槽)	S. 63	227,609	27	13	0.325	73,973
〃 (機械)	S. 63	195,816	27	—	—	0
〃 (建物)	S. 63	96,081	27	18	0.400	38,432
小 計		15,386,299				2,213,522
水管理施設(坂井北部)	S. 61	671,323	29	—	—	0
水管理施設(芝原合理化)	S. 63	316,678	27	—	—	0
【県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)：三里浜砂丘地区】						
スプリンクラー	S. 59	96,868	31	—	—	0
道路工(路床・路盤)	S. 59	22,433	31	9	0.225	5,047
小 計		119,301				5,047
【県営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)：棗地区】						
ファームポンド	S. 63	191,646	27	13	0.325	62,285
小 計		191,646				62,285

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤=①×④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④=③/(②+③)	
【県営経営体育成基盤整備事業(圃場整備型)：劔岳地区】						
用水路	S. 47	306,288	43	—	—	0
排水路	S. 47	217,214	43	—	—	0
道路	S. 47	328,698	43	—	—	0
小計		852,200				0
【県営経営体育成基盤整備事業(圃場整備型)：坂井東地区】						
用水路	不明	122,515	—	—	—	0
排水路	不明	86,886	—	—	—	0
道路	不明	131,480	—	—	—	0
小計		340,881				0
【県営経営体育成基盤整備事業(圃場整備型)：川西中部地区】						
用水路	S. 41	847,446	50	—	—	0
排水路	S. 41	600,994	50	—	—	0
道路	S. 41	909,454	50	—	—	0
小計		2,357,894				0
【県営担い手育成基盤整備事業(圃場整備型)：坂井兵庫地区】						
用水路	不明	877,328	—	—	—	0
排水路	不明	622,186	—	—	—	0
道路	不明	941,522	—	—	—	0
小計		2,441,036				0
【県営経営体育成基盤整備事業(圃場整備型)：坂井西鯉地区】						
用水路	不明	127,894	—	—	—	0
排水路	不明	90,699	—	—	—	0
道路	不明	137,252	—	—	—	0
小計		355,845				0
【県営担い手育成基盤整備事業(圃場整備型)：河合地区】						
用水路	不明	369,936	—	—	—	0
排水路	不明	262,353	—	—	—	0
道路	不明	397,004	—	—	—	0
小計		1,029,293				0
【県営経営体育成基盤整備事業(土地総型)：三国井場地区】						
用水路	S. 58	336,170	31	—	—	0
排水路	S. 58	190,724	31	—	—	0
小計		526,894				0
【県営高生産性大区画圃場整備事業：坂井大味地区】						
用水路	不明	333,480	—	—	—	0
排水路	不明	236,499	—	—	—	0
道路	不明	357,880	—	—	—	0
小計		927,859				0
【県営かんがい排水事業：春江北部地区】						
用水路	S. 50	1,477,277	37	—	—	0
小計		1,477,277				0

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤＝①×④
			廃用時まで の使用年数 ②	今後の使用 可能年数 ③	残存率 ④＝③/(②＋③)	
【県営かんがい排水事業：永江地区】						
用水路	S. 36	380,993	55	－	－	0
小計		380,993				0
【県営新農業水利システム保全整備事業：沖田用水地区】						
沖田用水路	S. 46	1,331,822	44	－	－	0
小幡揚水機場(吸水槽)	S. 57	148,434	33	7	0.175	25,976
〃 (機械)	S. 57	217,027	33	－	－	0
〃 (建物)	S. 57	79,486	33	12	0.267	21,223
深坂揚水機場(吸水槽)	S. 56	127,111	34	6	0.150	19,067
〃 (機械)	S. 56	73,639	34	－	－	0
〃 (建物)	S. 56	48,115	34	11	0.244	11,740
浜島揚水機場(機械)	S. 57	83,861	33	－	－	0
白方揚水機場(機械)	S. 62	100,946	28	－	－	0
小計		2,210,441				78,006
【県営かんがい排水事業：五ヶ江地区】						
伊井用水路	H. 7	221,115	24	16	0.400	88,446
河長用水路	S. 58	129,299	36	4	0.100	12,930
長屋用水路	S. 54	133,370	40	－	－	0
小計		483,784				101,376
【県営かんがい排水事業：丸岡地区】						
丸岡西部用水路	S. 50	271,967	44	－	－	0
北横地用水路	S. 47	50,118	47	－	－	0
舟寄用水路	H. 3	156,296	28	12	0.300	46,889
小計		478,381				46,889
【県営かんがい排水事業：丸岡2期地区】						
丸岡西部用水路	S. 49	369,889	45	－	－	0
丸岡東部用水路	S. 45	619,406	49	－	－	0
小黒用水路	S. 43	117,483	51	－	－	0
一本田中用水路	S. 57	21,945	37	3	0.075	1,646
小計		1,128,723				1,646
【県営かんがい排水事業：東江地区】						
東江地区用水路	不明	673,622	－	－	－	0
小計		673,622				0
合計						4,241,137
公共施設保全効果の廃用損失額						15,664
総計						4,256,801